



第24回 越後加茂川夏祭り・大盆踊り大会 (8月14日)

主な内容

- 9月5日(土) 午前11時より美人の湯で  
国体の炬火採火式を行います。……②③
- 第24回 越後加茂川夏祭り……④⑤
- 平成20年度下半期の財政状況……⑥⑦
- 加茂の風土記……⑧

## 美人の湯源泉給湯再開記念

### きらめく小京都加茂 希望の火

トキめき新潟国体の加茂市炬火採火式を九月五日(土)午前十一時から「美人の湯」の広い庭園で挙行いたします。採火した炬火は、「美人の湯源泉給湯再開記念・きらめく小京都加茂 希望の火」と命名する予定です。市民の皆様のお待ち申し上げえます。

トキめき新潟国体の炬火の採火は、各市町村で実施して、それぞれ命名し、それを国体の開会式で一つに集めることになっています。

炬火の採火は、燧杵(ひきりぎね)や鍛冶鉄や小さな水力発電機等さまざまな方法で行われ、それぞれのまちにふさわしい命名が行われております。

加茂市では、九月五日午前十一時から、日本有数の温泉が順調に湧き出ている「美人の湯」の広い庭園で、ミス雪椿クイーンの塩澤亜弓さんの手で、太陽から採火する方式で行い、これをミス雪椿の木村朱美さんの炬火(トーチ)に移し、さらにこれを七谷小学校六年生の男女一人ずつの児

童代表と七谷中学校三年生の男女一人ずつの生徒代表の炬火(トーチ)に移した後、加茂市の炬火台に点火される予定です。(ミス雪椿のアンナ・エルシヨワさんはロシアへ帰省中です。)

当日、晴天でない場合には、当日以前に太陽電池に充電したエネルギーを使用することになっております。

当日は、加茂市の全中学校の吹奏楽部の皆さんと、七谷小学校五年生・六年生の皆さん、七谷中学校一年生・二年生・三年生の皆さんが出演されます。また、先般、県大会で優勝された加茂市の新潟中央短期大学の学生さん達がお祝いにトッキッキダンスを踊られます。

炬火採火式のスケジュールは次のとおりです。

開式宣言

国歌斉唱

加茂市民歌斉唱

挨拶（市長・県議会議員・市議会議員）

炬火採火・炬火台点火（ミス雪椿・七谷小児童

代表・七谷中学生徒代表）

炬火命名（市長）

お祝いのトッキッキダンス（新潟中央短期大学）

新潟県民歌斉唱

閉式宣言

当日は、広いテントを幾張りも張って、たくさん席を用意して、市民の皆様のおいでをお待ちしております。

なお、当日は、美人の湯の駐車場がすぐに満杯になると思われます。そこで美人の湯のシャトルバスを大幅に増発いたしますので、なるべくシャトルバスや市民バスを御利用いただければ、有難く存じます。

シャトルバス臨時便の時刻表は、次のとおりとし、各便は、三台〜四台のバスが続いてまいりますので御利用ください。

また、お帰りのバスも増発いたします。

### 加茂美人の湯 無料シャトルバス

行き先 加茂美人の湯（市役所→加茂駅→美人の湯）

停留所名	第1便	臨時便1	臨時便2
市役所 発	9:25	9:40	9:55
田中たばこ店前	9:26	9:41	9:56
市営西加茂団地前	9:27	9:42	9:57
丸五技研前	9:27	9:42	9:57
大郷町	9:28	9:43	9:58
山忠前	9:30	9:45	10:00
横江	9:32	9:47	10:02
横江公園前	9:33	9:48	10:03
大郷町2丁目	9:35	9:50	10:05
旭町	9:36	9:51	10:06
農協中央支店前	9:37	9:52	10:07
千刈	9:38	9:53	10:08
警察署前	9:39	9:54	10:09
都ヶ丘	9:39	9:54	10:09
加茂病院前	9:41	9:56	10:11
青海通	9:41	9:56	10:11
加茂小	9:42	9:57	10:12
加茂駅前	9:50	10:05	10:20
駅前通	9:50	10:05	10:20
本町	9:52	10:07	10:22
上町	9:53	10:08	10:23

停留所名	第1便	臨時便1	臨時便2
五番町	9:54	10:09	10:24
若宮町	9:55	10:10	10:25
秋房入口	9:56	10:11	10:26
八幡橋	9:57	10:12	10:27
秋房	9:58	10:13	10:28
桜沢	9:59	10:14	10:29
狭口	10:00	10:15	10:30
猿毛橋	10:00	10:15	10:30
元狭口	10:01	10:16	10:31
差合	10:02	10:17	10:32
善作前	10:02	10:17	10:32
大橋々際	10:03	10:18	10:33
黒水	10:04	10:19	10:34
団地前	10:04	10:19	10:34
樋脇橋	10:05	10:20	10:35
七谷コミュニティセンター	10:05	10:20	10:35
出戸	10:06	10:21	10:36
七谷小学校	10:06	10:21	10:36
高柳	10:09	10:24	10:39
下高柳	10:09	10:24	10:39
加茂美人の湯	10:10	10:25	10:40

※炬火採火式終了後、お帰りの際の無料シャトルバスも増発いたします。

# 第24回越後加茂川夏祭り



まばゆい滝が流れ落ちる大ナイアガラ花火



加茂川を囲む大きな輪の加茂松坂

今年の夏祭りは、朝から青空のもと、大勢が集まり、楽しく行われました。

毎年人気のユニボキャッチャーと桃釣り大会には、たくさんの子ども達から参加していただきました。普段は乗ることのできない建設機械を操作できて子どもたちも大満足でした。夕日の中で始まった灯ろう流しには、市内の保育園・幼稚園児の力作が澄んだ加茂川を流れていきました。

夕日が沈むと、左岸河川敷ではよさこいチームが踊りを披露し、そこにかつこう加茂川の御神輿が合流。ほかでは見られない、加茂だけの一幕です。

会場に一番人が集まると大盆踊り大会が始まりました。加茂川を囲む輪に飛び入りの人々たちも加わり、加茂松坂をいっしょに踊るひとときでした。

大花火大会には約千発が打ち上げられました。一尺玉の三連発とファイナルのナイアガラ花火では、目の前を流れ落ちる光の滝に会場を埋め尽くす観客から歓声が沸きあがりました。

今年の夏祭りは、朝から青空のもと、大勢が集まり、楽しく行われました。

毎年人気のユニボキャッチャーと桃釣り大会には、たくさんの子ども達から参加していただきました。普段は乗ることのできない建設機械を操作できて子どもたちも大満足でした。夕日の中で始まった灯ろう流しには、市内の保育園・幼稚園児の力作が澄んだ加茂川を流れていきました。

夕日が沈むと、左岸河川敷ではよさこいチームが踊りを披露し、そこにかつこう加茂川の御神輿が合流。ほかでは見られない、加茂だけの一幕です。

会場に一番人が集まると大盆踊り大会が始まりました。加茂川を囲む輪に飛び入りの人々たちも加わり、加茂松坂をいっしょに踊るひとときでした。

大花火大会には約千発が打ち上げられました。一尺玉の三連発とファイナルのナイアガラ花火では、目の前を流れ落ちる光の滝に会場を埋め尽くす観客から歓声が沸きあがりました。



市内保育園の灯ろう流し



子ども部門とおとな部門に分かれて審査



今年も大好評だったユニボキャッチャー



桃を釣り上げるたびに歓声があがりました



1,000発の打ち上げ花火



お祭りの雰囲気盛り上げる御神輿



加茂のよさこいチーム「あってねえ」



加茂川を囲む大盆踊り



お囃子の中で活躍する子どもたち



加茂川の流れは暑さを楽しませてくれます

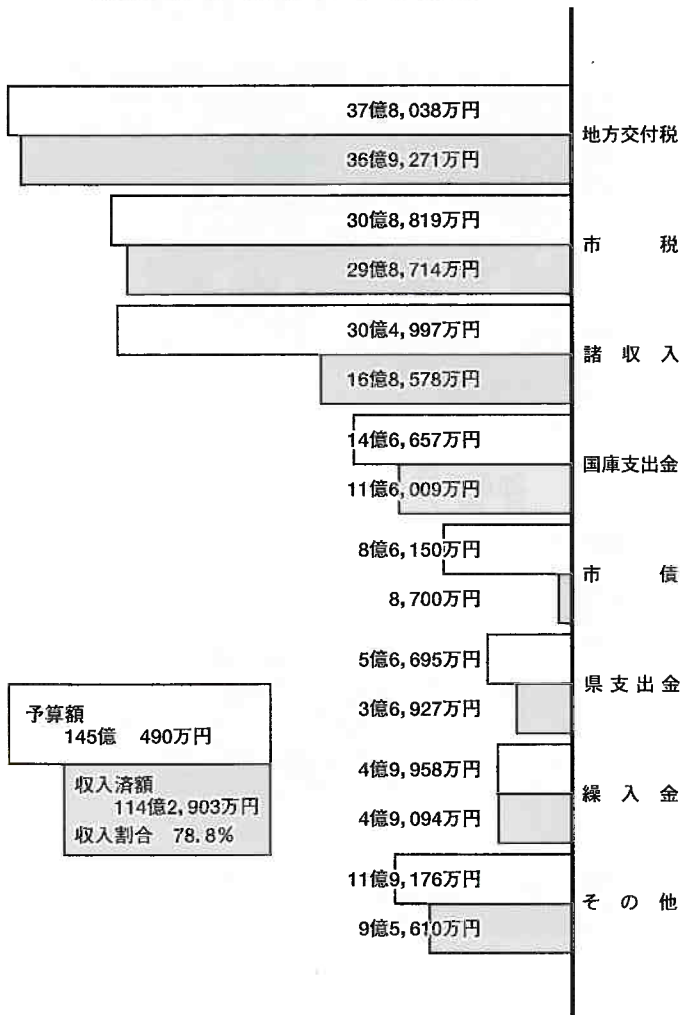


のどを潤してくれるかき氷は大人気

# 平成20年度 下半期の財政状況

一般会計 総額145億490万円

## 一般会計歳入の状況 (21.3.31現在)



予算額	145億 490万円
収入済額	114億2,903万円
収入割合	78.8%

加茂市には、どのようなお金が入り、何に使われているのか…。

市では毎年二回財政のあらましを公表しています。今回は昨年の10月から今年3月末までをグラフと表でまとめました。

市の会計年度は3月末で終わりますが、5月までの整理期間を経て確定します。3月末現在における執行済額の予算に対する割合は、歳入で78・8%、歳出で78・1%となっています。加茂市がどのような施策を行っているか、表とグラフでご覧ください。

## 市税の収入状況

税 目	調 定 額 (万円)	収入済額 (万円)	収納率 (%)
市 民 税	14億6,696	13億3,478	91.0
固定資産税	16億6,938	13億 240	78.0
軽自動車税	6,663	6,131	92.0
市たばこ税	1億4,497	1億4,497	100.0
特別土地保有税	54	0	0
都市計画税	1億8,428	1億4,368	78.0
合 計	35億3,276	29億8,714	84.6

※調定額とは、皆さんから納めていただく税金の決定額のことです。

項 目	予 算 額 (万円)	歳 入		歳 出	
		収入済額 (万円)	収入割合 (%)	支出済額 (万円)	支出割合 (%)
国民健康保険	33億 573	24億8,815	75.3	29億3,398	88.8
老人保健	3億7,787	3億2,420	85.8	2億8,155	74.5
後期高齢者医療	2億8,994	2億5,202	86.9	2億5,136	86.7
宅地造成事業	3億5,006	1億6,608	47.4	1,212	3.5
下水道事業	26億2,867	19億1,646	72.9	22億8,570	87.0
介護保険	21億9,042	20億9,222	95.5	19億7,634	90.2
在宅介護サービス事業	4億7,840	4億5,860	95.9	4億6,812	97.9
合 計	96億2,109	76億9,773	—	82億 917	—

## 一般会計 市民1人あたりでは

人口	31,244人(H21.3.31現在)
■収入額(歳入・収入済額)	365,799円
・うち市税(市民の皆様が負担される額)	95,607円
■支出額(歳出・支出済額)	362,655円
■市債(国が負担する分を除く市の借金)	145,327円
■基金の額(現金のみ)	8,169円

市債現在高は、108億5,643万円で国が全額負担する分を除くと75億4,337万円となり、これを返済するとき、国がさらにその一部を負担しますので、実際に加茂市が返済する金額は45億4,059万円となります。

区 分	現在高(万円)
1 総務債	8億 385
2 民生債	10億8,051
3 衛生債	9億7,369
4 農林水産業債	4億9,219
5 商工債	1,221
6 土木債	25億5,641
7 消防債	1,720
8 教育債	10億4,677
9 災害復旧債	8,631
10 転貸債	2,613
11 退職手当債	3億 840
12 減収補てん債	1億3,970
小 計	75億4,337
13 減税補てん債	6億3,677
14 臨時税収補てん債	1億2,529
15 臨時財政対策債	25億5,100
一般会計総計	108億5,643

下水道事業特別会計	131億8,689
-----------	-----------

市有財産の状況	
土地	1,283,123㎡
建物	134,306㎡
構築物	231基
基金	2億5,524万円 78,670㎡

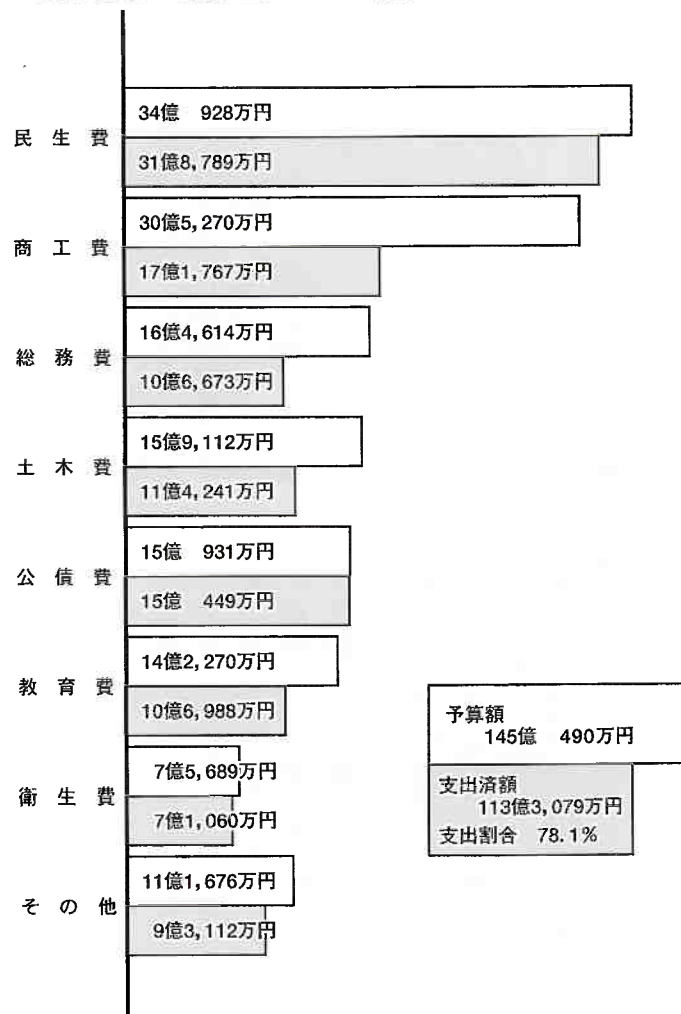
水道事業 (万円・%)				
項目	予算額	執行済額	執行割合	
収益的	収入	5億3,220	5億2,048	97.8
	支出	6億 994	6億 61	98.5
資本的	収入	8,002	6,158	77.0
	支出	1億6,345	1億4,381	88.0

収益的収入からは減価償却費として2億3,778万円が天引され、これが留保財源(貯金)となります。収入と支出の差は、この留保財源(貯金)で補てんされ、余った分(黒字)は、翌年度へ繰り越されます。この翌年度へ繰り越される留保財源(黒字)は、7,542万円です。

## 主な補正予算(下半期)

- 定額給付金事業費 5億 57万円
- 県信用保証協会保証料補助金 1億9,040万円
- 耐震補強事業費 1億9,500万円

## 一般会計歳出の状況 (21.3.31現在)



# 加茂俳諧小史から

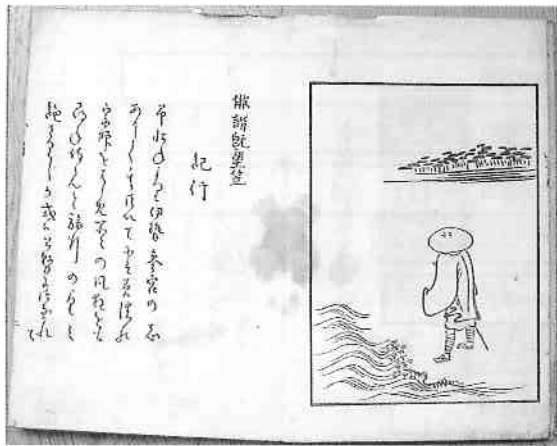
## 村越菊文の『既望笠』など

下条の法音寺境内に嘉永三年（一八五〇）建立の「猿蓑」の芭蕉句碑がある。この句碑に代表されるように江戸時代において、加茂や周辺村々では、他地方に劣らず俳諧を嗜む愛好者が多かった。

現在では俳句と呼ばれているが、江戸時代では「俳諧の連歌（連句）」で、連句は、和歌の上の句（五七五）と下の句（七七）を二人以上、何人でも構わず、一堂に会して次々と付け進む、座の文芸である。ある意味では中世の上品な連歌を近世に、より卑俗的・庶民的に変えたもので、俳句は発句（上の句）を独立化したものである。

# 加茂の風土記

連句には、百韻（百二句）、七十二候（七二句）、世吉（四四句）、歌仙（三六句）など、句数による巻き方がある。連句を幽玄閑寂の世界に芸術性を高めたのは松尾芭蕉で、



安永8年（1779）の『既望笠』

ここに至り各地で発句の隆盛がみられた。芭蕉が元禄七年（一六九四）に没すると、蕉風は数派に分かれ、その一人各務支考は美濃派を興した。加茂の俳諧の流れは、支考の二度の来越もあり、その流れを汲んだ。美濃派三世を継いだ仙石廬元坊とも交流のあった井上鴨笑が、『賀茂乃矢立』（鴨矢立）を京都橋屋治兵衛から上梓したのは享保十二年（一七二七）春である。彼は先祖が藩主の加茂本陣を勤めたという井上家の五

代目で、加茂の町年寄井上仁兵衛である。

また一世代遅れて、下条では村越菊文が五十二年後の安永八年（一七七九）に『既望笠』を同じく京橋屋から上梓している。菊文は当時、三日市藩領の下条東村庄屋で七右衛門と称した。縁者であった加茂の大庄屋明田川徳治郎の勧めもあって俳諧を志した。二人とも魚沼塩沢町の俳諧者鈴木牧水（牧之の父）と交流があり、その書簡には、菊文・村越其治、竹栄・明田川徳治郎（雪見庵）として本名と俳号が記されている。

菊文の俳諧書『既望笠』は、伊勢参宮のついでに、美濃を行脚し、美濃派四世宗匠田中五竹坊や安田以哉坊、河村再和坊など、各地の宗匠を訪ね、交わされた句を載せている。

加茂近辺では、竹栄をはじめ、狭口の笠原逸調（文四郎）などや、越後各地の俳諧者から、また諸国では北は津軽、南は九州肥前・肥後などから、合わせて百人近くより句が寄せられている。

なお、書名は、菊文の美濃行脚の旅立ちが水無月（旧暦六月）の十六日（いざよい）であったことに因んでいる。

（関 正 平）

## 越後加茂川夏祭りを

とっぴー・きっぴーが応援



ウキウキ桃釣り大会の会場にあらわれた「とっぴー」と「きっぴー」。いっしょうけんめいに桃を釣り上げようとする子どもたちを応援してくれました。

十月二日から始まるトキめき新潟国体・ボクシング競技を前に、九月五日には加茂美人の湯で炬火の採火式が行われます。大勢のご来場をお待ちしています。

### 訂正とおわび

広報かも7月号（No.637）十二ページがありがとうで「いざみ理容室（青海町一）の住所が誤っていました。訂正しておわびします。

### 人口のうごき

8月1日現在	
世帯	10,108 (+6)
人口	31,125 (-25)
男	15,046 (-14)
女	16,079 (-11)
( )内は前月比	
(7月異動分)	
出生	5 (男3女2)
死亡	17 (男8女9)
転出	41
転入	28